

風立ちぬ

風の街の中学校の窓から

庄内町立立川中学校
学校だより
2015. 11. 2

文責：校長 石崎幸宏

文化祭「唄よ響け 想いよ届け」①

10月25日(日)、多くの保護者や地域の皆様にご来校いただき行われた文化祭では、合唱コンクール、各学年の総合的な学習の発表、有志発表、教科の作品やノート展示等があり、どれもすばらしいものとなりました。



合唱コンクールでは、最優秀賞が3年BC組、優秀賞は3年A組、2年A組という結果となりましたが、どの学級も甲乙つけがたい心に響く素晴らしい演奏でした。文化祭の取り組みを通して、生徒一人一人がその役割と責任を果たしながら自分らしさを発揮すると共に、学級の団結、学年、学校全体が「SHINKA(今年度の生徒会スローガン)」することができたと感じています。

それでは、生徒会長の「文化祭に対する思い」と各学年各学級代表の「文化祭を終えて」の感想を掲載します。(写真：ステージ脇のデザインアート「みんなの想いが一つになる」イメージ)

(文化祭の「しおり」より)

一人一人が主役の華に

生徒会長

今年もいよいよ文化祭の季節です。どのクラスも今日に向けて準備、練習を頑張ってきました。今日は、今までの練習の成果を存分に発揮し、最高の合唱を響かせましょう。

今年度の文化祭スローガンは「響華～唄よ響け 想いよ届け～」です。合唱では、華やかな歌声を体育館中に響かせ、自分達の想いを歌に乗せて皆さんに届けることができるように頑張ります。

また、合唱だけでなく、各学年の総合発表や開閉会行事、作品展示で一人一人にスポットを当てることで、みんなが主役になれるような文化祭になるようにしたいです。今日の文化祭を通して、みんなの最高の思い出となるように、クラス、学年、そして全校で団結し、またひとつ「SHINKA」できるように頑張っていきましょう。



(写真：全校合唱「校歌・最上川舟唄」)

みんなで目標に向かってがんばる大切さ

3年A組

今までの練習でたくさんのお話を学びました。特に、言葉の意味や情景を考えて、それを表現する難しさです。歌詞から想像をふくらませることだけでも難しかったのですが、そのイメージを歌にして伝えるということはとても大変だと実感しました。はじめは意識が低く、不安しかなかった3Aが、練習を重ねていくたびに向上し、歌うことが楽しく思えるようになったのは、一人一人が本気になって練習してきた成果だと思います。練習から得られたものは技術だけでなく、みんなが1つの目標に向かってがんばることの大切さ、すばらしさです。文化祭でより一層、「SHINKA」したことを、これからも大切にし、今後の生活に生かしていきたいです。

文化祭で得た一番の力 つながり

2年B組

文化祭が終わったときは、「優秀賞がとれなかったら、今日の文化祭は何の意味もなかった。」と僕は思っていました。でも、家に帰ってから考えたら、優秀賞をとれなかったのは悔しかったですが、本番に至るまでの道が大切なんだと思いました。2Bは、中間発表まで順調でしたが、本番の1日前にクラスに問題が起きました。そのような問題を2Bのみんなでも乗り越えて、心をついに一致団結して本番に臨みました。クラスのみんなが楽しんで歌えたと言っていたので、文化祭は大成功だったと思います。この文化祭で得た一番の力は、2Bの心をつながりだと思っています。このつながりを残りの2Bで過ごす日々で大切にしていきたいと思いました。これまで引っ張ってくれた音楽監督に感謝したいです。